

2026年度日系社会研修 コース概要

No	45
所管センター	北陸
分野	医療・介護・高齢化対策
研修コース名	医療（脳神経外科）
受入人数	1
受入時期	下半期
来日日	2026年11月11日（水）
帰国日	2026年12月12日（土）
提案団体	金沢大学
提案団体ウェブサイトアドレス	https://www.kanazawa-u.ac.jp/
研修員必要資格	必要資格；脳神経外科専門医師であること。 （医師免許CRM取得済みであること） 50歳までの、将来性のある医師 日本語能力；日常会話レベル（絶対要件ではない） 英語能力；研修に耐えうる英語力が必要 研修員に必要な実務経験年数：6年以上
研修員に必要な実務経験年数	その他（必要資格欄に記載）
研修使用言語	英語、日本語
日本語能力 （JLPT目安）	N3
英語能力	英語でのコミュニケーション可
研修目標	金沢大学附属病院脳神経外科で得た知識や経験を駆使し当該地域一人一人の患者の全身状態、社会的特性に配慮しそれぞれに最適な医療を提供する計画を立て実行する能力の修得をもって目標への到達とする。
期待される成果 （習得する技術）	① 研修員に、日本の脳神経外科臨床の全体像が理解される。 ② 研修員に、日本の脳神経外科手術の技術・知見が習得される。 ③ 上記2項を基に、研修員により、自国で応用可能な技術・手法等が整理される。 ④ 研修員が帰国後の具体的な活動計画を作成する。
研修計画（内容）	- 講義；①脳神経外科疾患と治療法を学ぶ ②脳神経外科手術の実際を知る ③基本的脳神経外科手術手技の知識、手法を学ぶ - 実習；救急現場および脳神経外科手術の見学、モデルを利用した手技習得 - 演習；問題を分析し日本の手法の適応を検討し、アクションプランに反映する - 学会・セミナー；日本脳神経外科学会学術総会 - 発表；内部
本研修実施の意義 現地日系社会への裨益効果	本研修実施の意義／現地日系社会への裨益効果： 金沢大学附属病院脳神経外科は、脳血管障害、脳腫瘍の手術件数が多く、血管内手術や神経内視鏡、覚醒下手術など、最新の医療技術と知識、手技の指導体制が確立されている。脳神経外科専門医以外に血管内治療専門医、神経内視鏡技術認定医、がん治療認定医など、さまざまな資格をもつ専門医、指導医が携わっている。 研修については、研修用プログラム、カリキュラムが確立しており、脳神経外科専門研修指導医が専攻医の個別指導を行っている。これまでに数多くの脳神経外科専攻医を指導した経験から研修内容・指導方法を再検討し、より多くの研修成果を得られるような工夫を行っている。 当科での研修では脳神経外科診療の内容を理解し適応を判断できる優れた人材を育成することが可能であり、研修員帰国後は所属している日系社会の脳神経外科診療への貢献が期待できる。
応募希望者への特記事項	・研修において臨床実習は行わないものとする。 ・研修に際し、事前に抗体値がわかる書類の提出を必要とし、本院が定める基準に満たない場合、ワクチン接種の上、接種証明書の提出を必要とする。（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、B型肝炎） https://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/research/training/